

NEW DENTAL SALON

トピック

栃木市保健福祉部と
下都賀歯科医師会の協議会

令和5年度小山下都賀歯科
医師会合同医療安全講習会

これからよろしく

金田 朋久 先生

私の「ながら散歩」後編

木村 重人 先生

業者からの耳より情報

株式会社成田デンタル
宇都宮営業所

編集後記

今まで延期や中止になっていた対面での会議や講演会などのイベントが復活してきました。人と人が顔を見て現場の温度を感じながら協議することや学ぶことの有意義性を改めて感じています。

また、コロナ禍を経て、どの業界においても本質を理解し移り変わる時代の分岐点にあるように思います。

今後も健診事業等、変化していく下都賀歯科医師会にご協力頂きますようよろしくお願いします。

広報担当理事 峰野友良

ネット配信広報誌第16号 2023年春夏

栃木市保健福祉部と 下都賀歯科医師会の協議会

令和5年8月22日午後、栃木グランドホテルにて
12回目の栃木市保健福祉部と下都賀歯科医師会協議会が開催されました。



毎年歯科医師会より行政に対し市民の歯科健康の更なる改善の為、要望書を提出して頂き実現させてゆく恒例の催しです。出席者は栃木市より大川市長をはじめ社会福祉部長及び課長クラスの方々14名と歯科医師会の役員14名でした。

協議会終了後懇親会も開催され、4年ぶりに新型コロナ以前の形式により執り行われました。

本来の要望は「6歳児来院型のフッ素塗布」についてでした。今まで23年長きに渡り集団型でのフッ素



塗布でした。以前は1000名を越える児童数が、近年は400名前後の来場者となり、(受診率は約20%)になってしまいました。原因として児童数の減少、各歯科医院でのフッ素塗布の取り組みなどによるものと思われます。そこで栃木市から集団型から来院型への変更の検討を打診され、今年の要望項目に決定しました。来院型になる事により、児童ひとりひとりにより丁寧な対応ができると思われま

す。また受診回数などは、今後の検討課題であります。

過去の栃木市への要望書により決定したものとしては、

- ① 口腔がん検診
 - ② 後期高齢者歯科健診（来院型）
 - ③ 歯周疾患検診の年齢拡大
 - ④ 妊産婦歯科健診の充実（産前、産後）
 - ⑤ 災害時の協定
- など多岐にわたります。

今後、少子高齢化が更に進み新たな課題はでてくるでしょう。また時代と共に市民の健康への意識は高まってゆくことと思われま



行政との連携、多業種との連携を深め、市民の方々の健康に寄与したいと考えます。



(記：山井 健嗣 写真：峰野 友良)

令和5年度

小山・下都賀歯科医師会合同医療安全講習会

令和5年7月2日（日）栃木市商工会議所にて令和5年度小山・下都賀歯科医師会合同医療安全講習会が午前10時より開催されました。



新型コロナウイルスが第5類に移行されて初めての講演会でしたが以前と同様の感染症対策（検温、アルコール消毒、マスク着用、座席指定、窓を開けエアコン全開、出入り口を一方通行にする。講演時間は1時間30分）等を行い小山（31名）独協医科大学医局員（11名）下都賀（44名）参加の下行われました。

GSK コンシューマ・ヘルスケア・ジャパンの商品説明の後、下都賀歯科医師会会長（町田裕哉先生）の挨拶がありその後、講師に獨協医科大学医学部口腔外科学講座教授川又均先生をお迎えして

テーマ『COVID19 パンデミックから学ぶ』

1. 標準予防対策及び新興感染症に対する対策
2. 偶発症防止
3. 医療事故対策

について講演していただきました。

令和4年度に改定された基本診療の施設基準及び評価の見直しを踏まえての講演で参加者は熱心に耳を傾けておりました。11:40に講演が終了しそのあと質疑応答、謝辞（町田裕哉先生）、小山歯科医師会会長（大友文雄先生）に挨拶をいただき閉会となりました。



川又均教授には時間の都合で本来2時間以上かかる内容を休憩なしで1時間40分近く講演していただいたことに深く感謝申し上げます。

また会員の皆様には当日暑い中参加していただいたことにお礼申し上げます。

記：須田寛志
写真：峰野友良



これからよろしく

金田 朋久

初めまして、このたび歯科医師会に入会させていただきました、金田朋久と申します。今回、このような機会をいただき、関係者の方々に深く感謝いたします。

私は、栃木県矢板市生まれで公立の小学校・中学校に通い、高校からは男子校全寮制の那須高原海城高等学校に入学しました。元海軍予備学校という変わった高校なので、少人数ということもあり色々な部活・スポーツ、共同生活を楽しく過ごしました。(東日本大震災の影響で現在は閉校いたしました但し思い出に残る良い生活が過ごせました)。大学は埼玉県の明海大学歯学部に入りました。私の甘い考えもあり両親の脛がなくなるまでかじったいい思い出もあります。部活は柔道部に入り1度も昇段試験を受けず推薦で2段をいただき、友達と釣り同好会を立ち上げ暇があつては釣りをしていました。紆余曲折ありながらも6年生になり、ソフトダーツ JAPAN のプロ試験に合格し数年間プロ資格を保持していましたが、やめてしまい現在ダーツに触ることもなくなりました。

卒業・国家試験合格が決まり柔道部の顧問でWHO 職員の草間薫名誉教授のお誘い(飲み会のノリ)もあり、明海大学歯学部大学院に入学、主科目に口腔外科学・副科目に口腔病理学を学びました。口腔外科では水平埋伏抜歯から、さいたま市大宮区と鶴ヶ島市の口腔がん検診または口腔扁平上皮癌・頸部郭清術の助手など勉強させていただきました。口腔病理では簡単な口腔病理診断などをさせていただきつつ、口腔扁平上皮癌・潜在的悪性疾患である口腔白板症と口腔扁平苔癬と Epstein-Barr virus の研究をさせていただきました。現在も明海大学歯学部口腔病理で後輩の研究補助・講義補助などさせていただいております。

今回、栃木市城内町でカナダデンタルの開業に伴い入会させていただきました。まずは会員の先生方に顔と名前だけでも覚えていただけるように努めてまいります。未熟なところが多々あり先生方にご迷惑をおかけすることばかりですが、ご指導ご鞭撻のほど。よろしく願いいたします。

カナダデンタル
金田朋久

私の「ながら散歩」後編

木村 重人

ある日、日が昇った頃に歩いていると、高い木の天辺にカラスくらいの鳥がいましたが、どうもカラスとは少々形が違うので何だろうと思い、双眼鏡を覗いたところ猛禽類。写真撮影し、家に帰り図鑑で調べるとオオタカでした。こんなとこんな身近にいるかと思い嬉しくなりました。この様な発見があり歩く楽しみが更に増しました。観ながら歩くと、これまで気付かなかった色々なものが見え楽しいものです。この日より散歩の折りには必ずタカのいる高い木のあたりを観る様になりました。観察していると、新たな発見がありました。いつも同じ場所にいるオオタカも冬の繁殖期になるとカップルで、そして、子育て期にはせつせと餌を運んでいます。この時期は餌を求めて、騒がしく鳴く幼鳥の声が聞こえます。春から夏頃にかけて高い木の裏手の耕地で褐色の猛禽類が飛んでいるのを見ました。家に帰り図鑑を調べたところオオタカの幼鳥でした。観察していると、初めのうちは近くの木から木へ、少しすると木から畑へ、日を経る毎にだんだんと上達し、飛行の範囲を広げていきます。数日後に訪れると幼鳥の姿はなく声も聞こえませんが、一人前になって巣立って行ったのでしょうか。何処に行ったのだから？この様に生き物を観察していると、更なる発見があり楽しみが増します。



いつも一番高い木の天辺で、高みの見物 オオタカ

タカの夫婦 下の大きいのが奥さん

鳥の観察は渡り、留鳥共に季節の楽しみがあるものです。冬から早春には毎年、猛禽類のチュウヒ[?]が訪れ、一月ほどいます。暖かい時期になるとショウドウツバメ、ゴイサギやアマサギが耕地にやってきます。今年も渡り鳥たちに逢えた喜びを感じます。また、農業用水路の排水管にいつも留まっている一羽のカワセミ（留鳥、くちばしが大きく色鮮やかな鳥です）も、繁殖期（5～8月）には数羽集まりにぎやかです。



カワセミ

繁殖期のカワセミ

アマサギ

ゴイサギ

私の夏の楽しみが一番は水田の生き物です。水が引かれた田の前にしゃがみ込み覗くと、最初に現れるのは蛭、6月頃になると無農薬の水田で1ヶ月程度しか生きない兜エビ、もう少し長生きのほうねんエビなど。また、親のトンボからは想像できない、どう猛なヤゴの捕食の様子なども観られます。夏の短い期間しか生きられない生き物の成長や生態を観察するのは楽しいものです。



水田の生き物

蛭

兜エビ

ほうねんエビ

耕地や丘を歩いていると様々な生き物を見ます。麦畑でピョンピョンはねるキツネ、道路を横切る狸、もの陰からちょろりと顔を出すイタチなどはよく見かけます。また希に見るのは畑でえさを探すイノシシや補食中の蛇などです。右下写真は8月末の夕方、畑の中の小道を歩いていた時に観た蛙を補食しようとしているマムシで、その様子を観ていると、私を睨みつけ、とぐろを巻き尻尾をもちあげシャカシャカと音を立てました。どうやら夕飯の邪魔し怒らせた様です。この日以来、この道は星見コースから外しました。



お稲荷さん

イタチ

毒は強いがおとなしいヤマカガシ

私を睨むマムシ

天気が良く月明かりの少ない日は星見主体に、天候の悪い日は明るい内に耕地や丘の生き物や草花、景色を観ながら歩きます。四季それぞれの空模様、星空、生き物、草花を観ることは楽しく、感動、驚嘆、癒しをもたらしてくれます。私の「ながら散歩」で面白い、楽しい、驚いたことはまだ沢山ありますが、今回はこの辺で終わりいたします。

最後に「ながら散歩」の効用について少しお話します。歩きながら楽しむということは、二つの効用をもたらします。一つは歩くことにより筋力強化、体のバランスの安定化、そして、「足は第二の心臓」と言われ血液の循環を良くします。もう一つは、「ながら歩き」は楽しい・喜び・癒されるなどを与えてくれます。これらは大脳新皮質における心理状態を良くし、生存や環境適応のための大脳辺縁系（神経系・内分泌系・免疫系）へ作用し生体恒常性を良くします。田舎では散歩ですれ違う人は必ず「おはよう」「おはようございます」「こんにちわ」など挨拶してくれます。これだけで何かさわやかな気持ちになります。観る（景色・生き物・植物の四季）、聴く（鳥の声、挨拶）ことにより、驚き、感動や楽しさを感じることが精神状態を良くします。昔から「病は気から」「万の病は心から」などのことわざがありますが、心（脳）の状態が体（生体恒常性）との密接な相互関係がることを示すものです。私たち歯科医は、医師としての責任、診療の難しさや人間関係などでストレスの生じやすい環境にあります。日頃より、身近に心身を良くする環境をつくるのが大切と考えます。歩きながら楽しむ、これが私の「ながら散歩」です。

業者からの耳寄り情報



地域担当をさせていただいております、後藤 尚士(ごとう たかし)と申します。

2013年に入社し、今年で入社 11 年目となりました。
これまで千葉県・埼玉県の数多くの歯科医院様に携わらせていただきました。
これまでの経験を生かして、先生方のお役に立てるように精進して参りますので
何卒宜しくお願い致します。

技工物に関しまして、何かありましたらご相談ください。



～早速ではございますが、ここで技工物の紹介をさせていただきます～

先生方のノンクラスプデンチャーは、何の樹脂をお使いになられているかご存じですか？

ノンクラスプデンチャーの悩みとして、アームがすぐ緩くなる・すぐ劣化して壊れる・色抜けをして
見栄えが悪くなる・修理ができないなどのお声を先生方からよくお聴きします。

様々な要因はありますが、使用樹脂によって性能は大きく変わっていきます！



劣化・破折に強く、適合性に優れた アルティメットデンチャー

弊社では、劣化・破折に強い非晶性樹脂の「アルティメット」を使用しています。

従来の結晶性樹脂と異なり、耐紫外線効果や耐加水分解性が高いため、色抜けや変色・
経年劣化しにくい樹脂になります。また、アームも緩みにくく適合性にも優れています。



審美+機能性を求めるなら！ スーパーアルティメットデンチャー

両側に渡る症例には、金属フレームの併用を推奨します。

樹脂のみですと、たわんでしまうためしっかりと噛むことができません。また、たわみによるアームの緩み・破折の原因にもつながります。金属フレームを使用することで、より強く・より薄く・最小限の面積で設計が可能になることで違和感の軽減に繋がり、患者様満足度が向上します。

より審美を求めるなら！ クリアアーム&ジルコニアレスト



前歯部にアームをかけると歯冠長が隣在歯と揃わず、かえって目立ってしまう！

沈下防止のためにメタルレストを置いたが目立つ！

このような症例はなかったでしょうか？

クリアアームやジルコニアレストを活用することでちょっとしたお悩みを解決することができます。

オリジナル洗浄剤



すべての**義歯**に対応・**マウスピース専用**洗浄剤もございます。
歯科医院専売品のため定期購入に繋がります。

少しでも興味を持った技工物や話だけでも聞いてみたいなどございましたら、
地域担当の後藤(080-4456-6322)までご連絡いただけましたら幸いです。

株式会社成田デンタル 宇都宮営業所
TEL028-680-6488

